



【子どもの夢をかなえる会】
（ゆめのおむすび）

【仙台駆け込み寺、（一社）SC.FIELD】

1. 事業実施団体について

事業実施団体の概要

団体名A

<団体の目的>

「困りごとの救急総合病院」として、DV、家庭内暴力、多重債務、自殺願望、ひきこもりなど様々な問題に苦しんでいる市民を救う。

<これまでの取り組み>

- ・悩み相談業務
- ・相談事例研究会
- ・相談員養成講座
- ・出張駆け込み寺

団体名B

<団体の目的>

- ・スポーツを通じた、社会貢献・地域貢献活動。
- ・未来ある子供たちの夢舞台を創造する。
- ・アスリートと地域を繋ぐ活動

<これまでの取り組み>

- ・せんだいスポーツ映画祭
- ・おやこフェス
仙台市内・気仙沼・石巻
- ・スポーツフリートーク

2. 令和2年度の実施内容

(1) 課題

- ▶ 様々な理由で生きづらさを感じている子どもたちには周囲の理解と支援が必要であるが、現状として個々の違いを認める環境が乏しいと考える。
- ▶ 自己理解・他者理解、集団の中で主張する経験等、夢を語るための材料を提供する機会が少ないのではないか。

(2) 事業の目的

- ▶ 自己理解・他者理解ができる子どもの育成
- ▶ 集団の中で主張できる子どもの育成
- ▶ 子どもたちが就労・修学の目標を持てるようなプログラムの提供
- ▶ 子どもたちにより理解と支援ができる社会の実現

2. 令和2年度の実施内容

(3) 令和2年度事業の目標と実績

- ▶ 子どもたちが社会に馴染む環境を定期的に提供し、子供たちが自分の夢や目標をかなえるためのサポートを行う。
 - ① 参加する子どもの100%が自己理解・他者理解ができる。
集団での音楽教室、ものづくり、料理教室等を通して目標を達成できた。
 - ② 参加する子どもの75%が集団の中で主張できる
各種の創作活動を通して目標以上の成果を確認できた。
 - ③ 参加する子どもの50 %が就労・修学の目標が持てる
参加した子供たちが小学生以下で就労目標は対象外とした。
修学は音楽、ものづくりを通して芸術を学ぶ喜びを持った事を確認した。

2. 令和2年度の実施内容

(4) 事業の実施体制

➤ 実施団体それぞれの役割分担

団体A：事務局業務、協働事業のマネジメント、親子の相談
団体B：音楽教室、アート作成、料理教室の実施

➤ 外部団体との連携など

- ・ 音楽教室いろは
- ・ おひるねアート
- ・ aromacraft春彩
- ・ えむ☆きっちゃん
- ・ Smile-happy-kitchen

2. 令和2年度の実施内容

(5) 事業スケジュールについて

➤ 事業スケジュール

2020/6/7 音楽教室いろは
2020/6/13 音楽教室いろは
2020/6/21 音楽教室いろは
2020/6/26 おひるねアート
2020/6/27 音楽教室いろは
2020/7/5 音楽教室いろは
2020/7/11 音楽教室いろは
2020/7/17 おひるねアート
2020/7/19 音楽教室いろは
2020/7/25 音楽教室いろは
2020/8/2 音楽教室いろは
2020/8/8 音楽教室いろは
2020/8/21 おひるねアート
2020/8/22 音楽教室いろは
2020/8/30 音楽教室いろは
2020/9/6 音楽教室いろは
2020/9/12 音楽教室いろは
2020/9/20 音楽教室いろは
2020/9/26 音楽教室いろは
2020/9/30 おひるねアート
2020/10/11 aromacraft春彩
2020/10/25 えむ☆きっちん
2020/11/29 Smile-happy-kitchen
2020/12/13 aromacraft春彩
2021/1/31 飾り巻きずし教室
2021/3/21 Smile-happy-kitchen

(6) 使用経費について

➤ 事業収支

事業費総額	100.0万円
仙台市助成金	85.5万円
団体自己資金	14.5万円

内訳

・報酬費	32.5万円
・旅費	3.3万円
・消耗品費	30.2万円
・印刷製本	0.9万円
・使用料	28.8万円

3. 実施した取り組みの紹介

(1) ゆめのおむすびのイベント企画①

➤ 実施した取り組みの内容を具体的に紹介

【おひるねアート】

場 所 なごみサロン

目 的 ・ 自己理解、他者理解ができる子どもの育成
・ ものづくりを通じた自己表現

参加者 6回開催して35名



3. 実施した取り組みの紹介

(1) ゆめのおむすびのイベント企画②

➤ 実施した取り組みの内容を具体的に紹介

【料理教室】

場 所 なごみサロン

目 的 ・ 自己理解、他者理解ができる子どもの育成
・ 料理を通じた自己表現

参加者 6回開催して40名



3. 実施した取り組みの紹介

(1) ゆめのおむすびのイベント企画③

➤ 実施した取り組みの内容を具体的に紹介

【音楽教室】

場 所 なごみサロン

目 的 ・ 自己理解、他者理解ができる子どもの育成
・ 音楽活動を通じた自己表現

参加者 16回開催して80名



4. 事業の成果と今後の展開

事業の成果と今後の展開について

➤ 事業目的や目標に対しての成果

【参加者】

- ・ 延べ人数 子ども52名／大人23名

【自己理解・他者理解】

- ・ 参加児童同士の交流が主体的になってきた。
- ・ 参加回数が多い子が、初めて参加する子の気持ちを考えて声をかけていた。
- ・ 遊び、食事会の中で意見を聞き、話し合うことができていた。
- ・ 工作、手芸が好きな子が多い。

【活動を通じた自己表現】

- ・ 集団の中で話すことが苦手な子も、無理なく参加できている。
- ・ スタッフに見てもらいたい、聞いてもらいたい、遊んでももらいたいという気持ちを 出してくれる。
- ・ 同年代の関わりにおいて、意見が異なった時の対処法が難しい様子。
- ・ スタッフの促しがあると、子ども同士で譲り合うことができていた。

➤ 反省点や課題等を踏まえて今後どのように進め方

- ・ 1年目としては目標通りの成果を得られた。
- ・ 来年度以降は参加者増に向けて活動の周知方法や他団体との連携推進。